

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)								
市町村名	まぐし 佐久市		ふりがな 箇所名	(一)上小田切白田停車場線 下小田切			事業年度 (完了年度は見込み)	年度～		年度						
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,110m W=6.0(10.0)m					H22年度末事業進捗率	0%								
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%								
	H23年度実施内容						用地補償費ベース	0%								
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降						
	事業費計(千円)	700,000		0		0		0		700,000						
財源内訳	国庫支出金	385,000		0		0		0		385,000						
	その他															
	県債															
	一般財源	315,000		0		0		0		315,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課					
									ランク	評点	ランク	評点				
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		A	2	A	2			
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある								2	2	
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない								5
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない						4	4	
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない				0							0
		各事業特有の必要性(安全の確保)			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)							6.5m以上(幅員)		
					歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し					4	4	
	小計									21		21				
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		C	0	C	0			
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない						0	0	
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている		特別な位置づけはない								0
		小計												6		
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	3	B	3			
		事業効果の早期発現(H23以降事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上						2	2	
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない								9
	小計									9		9				
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		B	4	B	4			
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない						5	5	
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路								18
	小計									18		18				
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	3	B	3			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない						4	4	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない								13
小計									13					13		
費用対効果(B/C)		1.23			評価の合計				B		67		67			
事業周知	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成18年9月に追加IC(仮称白田IC)連結許可このICへのアクセス道路として道路ネットワーク上重要な位置付けとなった。														
	地域からの要望経緯	平成18年には「県道上小田切白田停車場線整備推進協議会」設立。仮称白田IC開通までに県道の整備をするよう要望がある。平成22年には下小田切区より現道拡幅の要望がある。														
	事業説明等の経緯	平成19年3月 整備方針説明。平成20年10月下小田切区説明。平成21年2月整備促進協議会役員説明。平成21年4月整備促進協議会説明。														
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮していく。														
	他事業・プロジェクトとの関連	中部横断自動車道														
特記事項	今後、住民意見を聞きながらルートについて合意形成を図ってきたい。															
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他							
部意見	必要性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。					政策評価課意見		重要性がやや低い。								